



Comunicado da Escola :: La información de la escuela :: School Newsletter

子どもたちはみんな元気です!

あた ใหม 学年がスタートして、一か月余り。子どもたちは、ご家庭での様々な協力をいただき、元気に学校生活を送っています。感染症に対する取組が緩まないよう、緊張感をもって学校生活を送らせてあげたいと考えます。遠足はじめ周辺施設への校外学習など学年に応じた、この季節ならではの取組を進めています。引き続き、お子様の児童観察、PCR検査予定時の連絡等、学校での感染拡大防止にご協力をお願いします。



学校で行われる検診がほぼ終了しました!

毎年、4月5日は、身体測定・歯・耳鼻科・眼科・心電図等、体の健康に関する検診がたくさんあります。5月20日の内科検診でほぼ終了となります。学校からは随時、再検査や治療等の必要がある場合に、連絡をしていますので、対応にご協力をお願いします。

令和3年度の「学校経営方針」

過日、4月9日の学校運営協議会にて、令和3年度の学校経営方針が承認されました。すでにHPにも掲載済みです。昨年度の英語科の研修から本年度は生活科・総合的な学習の時間の内容充実にか力を入れています。その中で探求的な学習課題の設定や学習の展開にか力を入れています。よく言われている「主体的で協働的な学び」の研究が中心となっていきます。

また、ICT機器 (ipad やデジタル教科書等) の活用を通じた「確かな学び」の定着にも合わせて取り組んでまいります。

なお、生活科や総合的な学習の時間の内容によっては、専門家や地域の方々・保護者の方々の協力をお願いすることも多々あります。その折には、どうぞよろしくお願い致します。

亀山西小学校「学校経営方針」 令和3年4月

確かな学力・豊かな心を育み、家庭・地域とともに歩む活ある学校
～ ICT機器を活用した効果的な指導方法の実証的研究を通じた確かな学びの育成～

目指す子ども像

- 確かな学力・豊かな学力を身に付け、自ら学び続ける子
- 人権を大切にし、仲間と共に良く生きる子
- 心もからだも健やかで、命を大切にする子
- 自らの健康を保持増進し、安全な生活をつくり出そうとする子

目指す教職員像

- 授業力・指導力の向上に努む教員
- 子どもと進んでふれあい、心の声を大切にする教職員
- 保護者や地域住民の方々からの信頼獲得に努める教職員
- 健康や安全に留意し、自らの目標を持って、人間の成長を志す教職員
- 今日的な教育課題に対して、積極的研究し、実践的に解決を促そうとする教職員

重点目標

- 子どもたちの基礎学力・体力を確実に定着させる。
- すべての子どもがつながり合い、尊重し合う教育を推進する。
- 「亀山西子ども文化」を築き上げ、子どもの創造性や意欲を育てる。
- 地域の方々とながら、地域の教育資源を最大に活かした教育を推進する。
(生活科・総合的な学習の時間)
- 健康・安全な生活を送り、自らの生命を尊重する心を育てる。
- 教職員が一体となって学校教育活動に取り組み、自らの力量向上に努める。
- 教職員の総動員体制構築や高度志向活動に取り組み働きやすい環境を整える。
- ICT機器を活用した効果的な指導方法や活用場面について実践的な研究を行う (算教科)
- 感染症予防を視野に入れた学部環境の工夫と人権的・倫理的・学部補充的教育活動を推進する。

※「亀山西子ども文化」
・歌いさつ・そうじ・読書・巨人一歩・歌声・英語・「スポーツ魂こっこ」
・多文化共生や特別支援の教育活動の発信等、児童が主体的に行うしりとり発表会。

※「亀山西子市民意書」
1 「おはよう」「ありがとう」のいえる子
2 通まりや交通ルールを守る子
3 運動や読書に楽しむ子
4 力を合わせて仕事をする子
5 人や物を大切にする子
6 未来に夢を持ち続ける子

亀山西小が大切にしている4つの「あ」
「あ」あいさつ
「あ」安全(あんぜん)
「あ」抱きま(あとしまつ)
「あ」ありがとう

「亀山市教育大綱」～ 学びあられる教育のまち かめやま～
(豊かな自然と歴史文化の中で「ふるさと亀山」を受け継ぎ未来を拓く学び)

あいさつのできる・ありがとうのいえる子に!

市内にもありますが、全国的な牛丼チェーン「〇〇家」は、これまで、来店してきたお客さんに「いらっしゃいませ」と声をかけていたのをやめたそうです。社長自らの発案で、一年半前から別のあいさつに切り替え始めたそうです。その内容とねらいは以下のとおりです。



「いらっしゃいませ、ご注文よろしいですか」というよく聞く接客の基本的な言葉がけがマニュアルから消えたのが 2019年9月。改訂したマニュアルで、「いらっしゃいませ」に変わって登場したのが「おはようございます」や「こんにちは」といったあいさつです。改訂を発案した社長は『「いらっしゃいませ」はお客さんが返事のしようがないが、『こんにちは』だと返事がしやすい。そこで会話が生まれることもある』ということだそうです。社長は「長年当社が続けてきたやり方だったので、従業員も新しいやり方に慣れるまで時間がかかった。気づいた人は少ないかもしれないが、こういうところから変えて、お客様とのコミュニケーション量を増やしていくことから始めたい」とねらいを述べられています。あいさつは商売でもたいせつですが、生活のどの場面でも、人と人がつながる上で、最も大切です。あいさつをきっかけにコミュニケーションが始まり深まることは、みんなが分かっていることですね。幼少の頃より自然に挨拶ができるように、総ぐるみでがんばっていきたくです。



プール指導について



昨年度は、内科検診が1学期に実施することができなかったこともあり、プール指導ができませんでした。今年度は、内科検診も実施できていることと、国や県・市の指導もあり、出来る限りの配慮をしながら、プール指導を実施することとします。市教委からの指導内容としては、入水中の児童の間隔をとること、入水数の制限(40人程度)、プールサイドでも間隔をとり、更衣室でも蜜を避ける配慮をしたうえで実施するよう連絡がありました。亀山西小学校の人数規模・プールの大きさから考え、実施は可能と判断しました。指導内容としては、入水人数と間隔を考慮し、加えて密接する水遊び・水泳活動は取り入れないなど工夫して行います。例年のように学年が一度に入水することはしません。入水しているグループとプールサイドで友だちの泳ぎ方を見ているグループとに分けて行うなど、密と安全に配慮して実施してまいります。更衣については体育の時間と同じように、教室だけでなく会議室やランチルームを使いながら配慮してまいります。また、お子様のその日の健康状態や心配なことがあると保護者が判断される場合は、その日のプールの参加は控えていただいで結構です。実施回数も通常より少なくなるかもしれません。子どもたちが一番楽しみにしているプールですが、今後の国・県内市内の状況によっては急に中止となる場合もあることをご理解ください。



～亀山市教委より再度のお願い～

①同居家族の発熱症状等風邪症状がある場合は学校への登校は控える(出席停止扱い)

②体調不良によるPCR検査を受ける(受けた)際、必ず学校への報告する

(受ける予定と分かった時点で、結果が出る前に、速やかに)

上記内容について、すでに何度も連絡をさせていただいているところですが、県内・市内の状況から、亀山市教委より保護者の皆様にも再度の連絡の指示がありました。学校での感染拡大防止のための依頼ですので、ご理解・ご協力をお願いします。